



様式1(主な取組)

活動指標名	研究機関や開発企業等による施設見学				R3年度			R3年度 決算見込 額合計	進捗状況	活動概要
実績値	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B			
	通年実施	通年実施	通年実施	当面停止 WEBキャン パスツ アー動画を	当面停止 WEBキャン パスツ アーを実施	通年	100.0%	0	順調	オープンキャンパスの代替としてWEBキャンパスツアーを実施している。また、OISTの学生・研究員等が研究活動を紹介する広報イベントや、高校生を対象としたビジネスプランコンテストなどの開催を支援した。
活動指標名	県民向け出前講座等の実施促進				R3年度					
実績値	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B			進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果
	4件	6件	3件	4件	3件	2件	100.0%	0	順調	新型コロナウイルス感染拡大の影響により、一部イベントを取り止めたものの、WEBを活用したキャンパスツアーやOIST学生等が研究活動を紹介するオンライン講演、高校生を対象としたビジネスプランコンテストの開催を支援する等、県民の科学技術への興味・関心を高めることができたと考えられることから概ね順調とした。
活動指標名					R3年度					
実績値	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B			
(2)これまでの改善案の反映状況										
令和3年度の取組改善案						反映状況				
<ul style="list-style-type: none"> <li>報道機関を通じた情報発信とともに、SNSを活用して、産業界向けにOISTの活動の周知を図る。</li> </ul>						<ul style="list-style-type: none"> <li>OIST研究内容を紹介する広報イベントではOIST学生・研究者に限らず、他大学、関連自治体、企業なども交えて県民のより身近な話題につなげることでOISTの敷居を感じさせない内容発信に努めた。</li> <li>OISTの最新の研究成果など、報道機関への情報提供を行った。</li> <li>SNS等を活用し、適宜、OIST主催イベントの周知を図った。</li> </ul>				



## 様式1(主な取組)

### 3 取組の検証 (Check)

#### (1) 推進上の留意点 (内部要因、外部環境の変化)

##### ○内部要因

- ・ OISTの研究は基礎研究が主であり、その研究が実用化・事業化することでどのような効果が得られるのかなどが県民には理解しづらい。
- ・ OISTの研究、取組への県民理解を促すため、オンラインからでも参加可能なハイブリッドイベントの開催や研究成果の効果的な発信内容・方法について工夫する必要がある。

##### ○外部環境の変化

- ・ 新型コロナウイルスの感染拡大の影響はあるものの、OISTが主催して実施するビジネスプランコンテストや理系女子高生の育成を支援する科学ワークショップなどの参加者は多く、科学技術に対する関心は高まりつつある。

#### (2) 改善余地の検証 (取組の効果の更なる向上の視点)

- ・ OIST主催のビジネスプランコンテスト等の継続的な開催支援を行うとともに、OISTの活動の意義や可能性について、県内産業界等に対して情報提供を行う必要がある。

### 4 取組の改善案 (Action)

- ・ OISTの活動の意義や可能性について、報道機関を通じた情報発信やSNSを活用する等、発信内容・方法を工夫して分かりやすい情報発信を行う。